

## インプラント治療について

インプラント治療とは歯がなくなったところの顎<sup>あご</sup>の骨に人工の歯根<sup>しこん</sup>を埋め込み、歯を作る治療方法で一般の人に適応されだしたのは、1960年代以降のことです。以後その技術は著しい進歩を遂げています。

現在では治療後10年問題が起きない確率が95%以上とされています。また、安全性はしかるべきトレーニングを積んだ歯科医師が行えば、重大な事故につながる様なリスクは無くなってきています。

この治療法には多くの利点があり、残っている歯に負担をかけないことや、入れ歯と比べ、噛みやすいことなどが挙げられます。欠点は手術が必要なことや、治療期間が長くなること、治療費が高額であることなどが挙げられます。

また手術を伴うため、高血圧、心疾患、糖尿病や骨粗鬆症<sup>こつそそうしょう</sup>などの疾患をお持ちの方は受けられない場合があります。

治療後は自身の歯と同じで定期的な検診、メンテナンスが必要です。インプラントは通常の歯より、磨きにくく、感染しやすいため、注意深いケアが長持ちさせる秘訣になります。

インプラント治療は方法や種類がいくつもあります。取り外しができないものや、入れ歯を安定させる為にインプラントを使う方法もあります。症例により難易度も変わりますので、担当医としっかり相談し、利点、欠点を十分理解した上で治療を受けることが重要になります。

(一社) 北足立歯科医師会

